

血液・免疫内科

当該診療科の特長	<p>血液内科は主として、急性・慢性白血病、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫、骨髄異形成症候群などの造血器悪性疾患に対して、末梢血幹細胞移植を含む強力な化学療法から、高齢者に対する緩和的な治療まで行っている。悪性疾患のみならず、市中病院でよく見られる血小板減少性紫斑病や再生不良性貧血（発作性夜間血色素尿症）、自己免疫性溶血性貧血等に対しても、専門性の高い免疫抑制療法を行っている。</p> <p>自己免疫疾患に対しては、内科全科が対応できる病院としての強みを生かして各科専門領域と連携をとって治療している。</p>	
プログラムの特長	<p>一般市中病院であっても、血液内科専門医は阪神地区に集中している。</p> <p>大学病院、癌センター、移植病院と連携をとりつつ、当院でも最先端の医療を提供している。しかし普通の白血病の方、普通のリンパ腫の方、たくさんの高齢者の方は現在県内では行き場を失っている状況である。</p> <p>神戸市北区だけではない広い診療圏の方を対象に、日夜頑張っ治療を行なっている。専門的な治療は勿論、血液内科は総合内科として呼吸器腎臓消化器神経など総合的内科の知識が全て問われるところである。そのような内科の実力を蓄えつつ、一般的な血液腫瘍学のスキルが身に付くことが期待される。</p> <p>また、血液内科専門医だけでなく、内科専門医獲得に関しても、基幹病院として多くの症例経験が可能である。</p>	
到達目標	<p>① 血液疾患ならびに免疫疾患をガイドラインに基づいて診断し、治療を行うことができる。</p> <p>② 合併症のある患者様には、個別的に治療を計画することができる。</p> <p>③ 重症疾患の中心静脈管理、特殊な感染症治療、感染予防管理について習得する。</p>	
研修期間	3年間	
取得可能な資格等	学会名	取得可能な資格
	日本内科学会	日本内科学会専門医
	日本血液学会	日本血液学会専門医
	日本臨床腫瘍学会	日本臨床腫瘍学会専門医
指導体制	指導医：6名（非常勤4名含）	
その他	大学医局への所属、未所属へ関係なく全国より専攻医を受け入れている。 その後の所属入局状況も様々である。	